

私立 秋草学園短期大学

取組名称 学生に自信と主体性をもたせるためのキャリアガイダンスの推進

取組担当者 キャリアセンター 課長 松田 敏裕

1. 本学の概要

秋草学園短期大学は、埼玉県所沢市に、1979(昭和54)年幼児教育学科第一部及び第二部を開学し、1985(昭和60)年国文科及び経営科を増設した。1997(平成9)年には、学位授与機構認定の専攻科幼児教育専攻を設置した。2001(平成13)年には、国文科を日本文化表現学科に、経営科をビジネスマネジメント学科に名称変更するとともに、地域保育学科第一部及び第二部を開設した。2007(平成19)年には、地域保育学科第一部を地域保育学科に名称変更するとともに、日本文化表現学科とビジネスマネジメント学科を統合し文化表現学科を設置した。これにより日本文化表現学科、ビジネスマネジメント学科及び地域保育学科第二部の学生募集を停止した。現在、幼児教育学科第一部及び第二部、文化表現学科、地域保育学科並びに専攻科幼児教育専攻に、計971名の学生が学んでいる。

本学では、「愛され信頼される女性の育成」を建学の理念とし、「礼節、勤勉、協調の精神」を教育の支柱として、建学の理念を具現化するに当たって欠かすことのできない重要な基盤と位置付けている。また、「豊かな人間性と高い実践力を備えた、地域に貢献できる人材育成」を教育目標に掲げている。

2. 本取組の概要

本学は「愛され信頼される女性の育成」を建学の理念に掲げ、「自立した女性」「新しい時代の主役となるべき女性」の教育を進めてきた。近年学習・就業意識の低下による就職率の低迷が課題となっており、また学生の特徴として主体性が欠ける傾向が多く見られる。本取組では、①各事業体と連携を取り、学内に企業の人事担当者や園等の長・OG・ハローワーク所沢職員等を招聘し、合同企業説明会・職種研究会・園長講演会・面接相談会等を実施する。また①と並行して、②就労観の醸成を目指したキャリアガイダンスや就職対策集中講座を実施し、自立・自発的に就職活動に立ち向か

わせ主体的に行動できる人間を養成することを目標とする。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 取組の趣旨・目的

昨今、特に学生の基礎学力と主体性の低下が問題視されている。本取組では、学生が自発的に行動できるように就職活動機会を多数創出するとともに、自信を持って行動できる知識を植え付けさせることを目指す。取組の結果、厳しい雇用環境へ立ち向かう意識を付け、また就職率・内定率の向上を目的とする。

(2) 達成目標

①就職活動へ自発的に入っていけるように事業体と連携を図り、数多くの合同企業説明会・職種研究会・園長講演会・面接相談会等を実施して、雇用のマッチング機会を積極的に作り、学生の行動意欲の促進を図る。その結果として就職率・内定率の向上を目指す。具体的には一時的な仕事(アルバイト)、その他不明の合計人数を2桁から1桁にすることを目標とする。②短期集中型の就職対策講座を多く設け、その都度受講前後の意識・成績・実力を把握させ就職活動に対しての自信をつけさせることを目標とする。

表1 卒業生の進路状況表

年度	学科名	卒業 者数	就職希 望者数	内定者数	内定率	未内 定者数	進学・ 留学者 数	結婚・ 家事手 伝者数	アルバイト 者数	不明 者数
平成19年度	幼児教育学科(Ⅰ・Ⅱ部)	275	234	233	99%	1	10	8	21	2
	地域保育学科	108	97	97	100%	0	5	1	4	1
	専攻科	8	8	8	100%	0	0	0	0	0
	文化表現学科	90	61	57	93%	4	2	6	17	4
	合計	481	400	395	99%	5	17	15	42	7
平成20年度	幼児教育学科(Ⅰ・Ⅱ部)	243	215	206	96%	9	9	5	14	0
	地域保育学科	32	24	19	79%	5	0	1	5	2
	専攻科	6	6	6	100%	0	0	0	0	0
	文化表現学科	76	48	41	85%	7	7	9	12	0
	合計	357	293	272	93%	21	16	15	31	2
平成21年度	幼児教育学科(Ⅰ・Ⅱ部)	218	185	184	99%	1	9	8	15	1
	地域保育学科	87	73	73	100%	0	7	3	4	0
	専攻科	7	7	7	100%	0	0	0	0	0
	文化表現学科	57	37	26	70%	11	4	0	11	5
	合計	369	302	290	96%	12	20	11	30	6

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 取組の具体的内容

(i) 合同企業説明会・名刺交換会の実施

合同企業説明会は、学外施設（所沢市民文化センター）に於いて参加企業14社18名、参加学生数62名で、各企業人事担当者がブースごとに分かれ、各4回（1回30分間）学生に企業について説明するという形式で行われた。また、名刺交換会は、参加企業12社14名と当学関係者15名の出席で意見交換が行われた。合同企業説明会では、企業人事担当者と学生からアンケート調査を行った。また出席した当学関係者から名刺交換会で得た情報を提出してもらった。それらの情報を学生にアナウンスしていった。合同企業説明会を実施したことで、キャリアセンターに質問や相談にくる学生が増えたこと、いち早く数人の学生であるが就職活動を開始したこと等から、以前より就職活動に対する自信・主体性を学生に持たせることができたと思われる。学生アンケートの結果から、希望職種と就職活動に対する意識や状況が把握でき、個別面談時により具体的に企業名を挙げながらアドバイスができた。企業側アンケートの結果から、当短期大学生をどう見ているのか、どんな学生を求めているのかを知ることができた。良い所はさらに伸ばし、指摘された所はキャリアガイダンスの中で改善していくことができる。



写真1 合同企業説明会



写真2 職種研究会

(ii) 短期間集中講座の実施

一般企業向け就職対策集中講座は、学生44名の参加で演習を中心に26コマ実施した。幼稚園・保育園・施設向け就職対策集中講座は、学生254名の参加で私立（154名）と公立（100名）コースに分け筆記問題を中心に31コマ実施した。

一般企業向け就職対策集中講座の成果は、面接・マナー演習を中心に行ったので、自分で働くことの大切さを実感したこと、履歴書や自己PR文は短期大学生としてはかなり高いレベルまでまとまっている学生が多かったこと、面接でもある程度の厳しいやり取りまでは対応できる力がついたこと、また秘書検定履修により、挨拶や立ち居振る舞いの行動変革がみえるようになったことである。幼稚園・保育園・施設向け就職対策集中講座の成果は、筆記対策中心に行ったので、テキスト配付により、今後の自己学習がしやすくなったこと、ある程度試験内容がわかり、何をどのように対策すればよいか、どのように試験情報をとればよいか理解できたことである。



写真3 就職対策集中講座

(iii) 導入成果報告会（講座内容分析検討会）の実施

今回、外部講師3名、就職指導委員長、キャリアセンター職員4名で、学生の態度・姿勢や学力到達レベル、問題点や今後の提案等について話し合った結果、今後は、コミュニケーション力を上げる為のフリートーク面接を増やす、緊張感ある場面での疑似体験を増やす、そして次年度に他大学の学生とのコラボレーション形式で模擬面接を行い学生の就職活動意欲の高揚を図るとともに、他大学の手法との比較をすることが決まった。

(2) 取組の実施体制

学長を中心に、指導教員、就職指導委員、キャリアセンター職員、外部就職専門講師、企業人事担当者、園長・OG・ハローワーク所沢職員等で会議・懇談会を設定する。意見交換をしながら合同企業説明会・職種研究会・講演会・面接相談会や就職支援プログラムを実施する。

5. 本取組の評価体制・評価方法

①合同企業説明会で求人企業に各学生の評価をしていただき、就職指導委員会にフィードバックして分析をする。②講座前後でアンケートを実施し、主体性他、就職に関係する能力を数値化し自己評価をさせる。①での分析結果を②の講座に反映させる。

6. 本取組の実施計画等

2009(平成21)年度は2月から始め、①合同企業説明会・名刺交換会。②短期間集中講座を実施した。

2010(平成22)年度の実施計画は、前年度の計画を継続して次のように計画している。

(1) 就職指導計画

(i) 5月～1月

・授業時間割に組み入れてのキャリアガイダンスを実施。この講座で学生は、自分自身で、キャリアデザインを描いて就職活動に必要となる基本的なことを学ぶことができる。

(ii) 4月～7月

・公立保育士教養試験対策講座の実施。この講座で公立保育士筆記試験の点数アップを図り、合格率を現在の50%から70%程度まで上昇させる。

(iii) 6月

・基礎学力テスト・キャリア適正検査の実施。こ

れにより、自分自身の学力と適性を知り、受験対策と仕事選び・会社選びにつなげる。

- ・グループ面談の実施。
- ・教職員による幼稚園、保育園、施設先深耕開拓の実施。
- ・幼稚園、保育園、施設長、OGを招聘しての講演会を開催。現場で求められている知識、技術、資質等についての講話は説得力があり、学生たちの職業に対する自覚を高め、就職活動の動機づけとなる。

(iv) 7月

- ・公立保育士就職模擬試験の実施。
- ・社会人基礎マナー講座の実施。学生としてふさわしい良識行動について実践的に学ぶことで、就職活動だけでなくアルバイト、ボランティア等、学外での活動に役立たせることができる。
- ・夏季インターンシップの実施。

(v) 9月

- ・一般企業向け夏季就職対策集中講座の実施。この講座では、「秘書技能検定2・3級」資格取得を目標にしており、21年度合格率2級53%・3級83%を、22年度は2級70%・3級90%以上まで上昇させる。
- ・幼稚園、保育園、施設向け直前就職対策集中講座の実施。この講座で学生は、今までキャリアガイダンスで学んだことの復習と模擬面接をする。
- ・幼稚園、保育園、施設長、OGとの懇談会を開催。

(vi) 10月～11月

- ・企業人事担当者、OGを招聘しての職種研究会を開催。学生が各種の業種、職種の仕事内容の情報収集ができ自分が就きたい職業を見つけることができる。
- ・ハローワーク所沢職員を招聘しての面接相談会を開催。

(vii) 12月

- ・一般企業学生対象に学外就職対策集中講座の実施。学外で本番さながらに行うので、学生に緊張感ができ就職活動に対する意欲と自信の高揚を図ることができる。
- ・一般企業希望者への内定学生による就職活動体験発表会の実施。

(viii) 2月

- ・合同企業説明会・名刺交換会を開催。
- ・一般企業向け春季就職対策集中講座の実施。
- ・教職員による企業先深耕開拓の実施。

- ・他大学の学生とのコラボレーション形式による模擬面接会の実施。
- ・春季インターンシップの実施。

(ix) 3月

- ・私立幼保施向け試験対策集中講座及び公立保育士試験対策集中講座の実施。
- ・外部講師との講座内容分析検討会の実施。
- ・幼稚園、保育園、施設希望者への内定学生による就職活動体験発表会の実施。